

新型コロナウイルス感染症について (2021年11月14日)

日本では、現在約172万人(全人口の約1.4%)が新型コロナウイルス感染症と診断され、重症化(人工呼吸器等の必要となる)の割合は約1.6%(50歳以下で0.3%、60歳以上で8.5%)、死亡する人の割合は約1.0%(50歳以下で0.06%、60歳以上で5.7%)です。人口当たりの感染者数や死者数は、全世界の平均や主要国と比べて低い水準で推移しています。

重症化しやすいのは、高齢者(30歳代と比べた重症化率は、60歳代で25倍、70歳代で47倍、80歳代で71倍)と基礎疾患(肺や腎臓の慢性疾患、糖尿病や高血圧、心血管疾患、肥満、喫煙等)のある方です。

新型コロナウイルスに感染した人が、他の人に感染させてしまう可能性のある期間は、発症の2日前から発症後7~10日間とされ、特に発症の直前直後でウイルス排出量が多くなります。

感染拡大予防には、1)体調の悪い時は不要・不急の外出を控える、2)人と接する場ではマスクを口と鼻を覆うように着ける(布マスクを感染者が着けると接した人のウイルス吸入量は60~80%減少、感染者と接する人が着けると20~40%減少)、3)外出中は人が触る所に触れず、自分の手で顔を触らない、4)外出後は必ず石鹸で手を洗う(アルコール手指消毒だけではウイルスが完全に死滅しないことあり)、5)人の密集する場所や人との密接を避ける、6)密閉空間では換気する、7)クラスター感染リスクの高い場所に行かない、ことが大切です。

新型コロナウイルスワクチン接種を2回受けることで重症化予防効果が期待できます。しかし、ワクチン接種をしたからといって絶対に感染しないということではありません(発症予防効果は70~95%)し、感染した場合に症状が出ないこともあるので、接種を受けた人でも感染予防対策は必要なのです。